

平成 27 年度 平取ダム工程コスト検討委員会の
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言を頂くため「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 平成 27 年 10 月 13 日 (火) 13:00~14:00
2. 場 所 : 室蘭開発建設部二風谷ダム管理所 1F 会議室
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員
◎委員長(※50音順)

4. 審議結果

○審議内容

- (1) 事業の進捗状況
- (2) 平成27年度工事内容
- (3) コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・伐木材の無料配布については、平成27年度も継続実施。
- ・今後発生する土砂の流用については、運搬距離を短くする方法を検討するなど、コスト縮減に努めていく。
- ・新技術工法として長距離伝達スピーカを放流警報局舎に採用する。

【今年度以降のコスト縮減】

- ・基礎岩盤保護工の見直し
- ・カーテングラウチング計画の見直し
- ・伐木材の無料配布
- ・伐根物や枝等の木質チップを利用した法面保護工について
- ・新技術活用による放流警報局舎の見直しについて

○主な意見

- ・現地条件を踏まえ、グラウチング計画を見直し、コスト縮減がされている。試験湛水時の状況によっては、追加グラウトが必要になることが想定されるため、適切に対応していただきたい。
- ・伐木材の有効活用として、越冬養生の資材への活用を検討している事例もある。
- ・放流警報装置に新技術が積極的に活用され、大幅なコスト縮減となっている。今後の施工にあたっては、現地条件に適した仕様を採用していただきたい。